

再Q 大井としひろ

指摘の中で、監査において特に目についた事項として、決算額と管理台帳額の不一致、固定資産や備品の登録誤りや棚卸しの数量違いなど、会計数値を確定する上で基本的な手続に不備が多く見られたことであると書かれていました。平成15年にも包括外部監査を受けておられます。そこで、今回の監査で、耐用年数の誤りについては平成15年度の包括外部監査でも指摘しているにもかかわらず今回もこのような指摘がされていますが、それに対してどうお答えされますか。



A 水道局長

誠に申し訳ないと思っております。組織的なチェックができるように今後とも取り組んで、今回は支援業務を監査法人に委託しまして、専門家の方にアドバイスを頂きながら、先ほど申し上げましたマニュアルなども作成いたしまして、職員研修も実施して、今後、抜かりのないように取り組んでまいりたいと思っております。

要望 大井としひろ

監査の中で今回発見した不備というのは、内部統制体制、これが適切に整備・運用されておれば防止できたものが大半だと指摘されています。局長自ら内部統制の、整備・運用について自ら旗を振っていたとき、早急に是正されるよう要望して終わります。

「おーいブログ」 2021.9.21より

活動報告

名谷駅前バスターミナルの点字ブロックについて

今日、須磨区民の方から私宛にメールが届きました。内容を見ると目のご不自由な方からでした。

「1年ほど前に名谷駅のバスロータリー周辺の地面改良工事があり、その際に本来あったはずのバス乗り場まで行く点字ブロックが撤去されてしまいました。

代わりによその道へ行く点字ブロックから、いきなりバスの乗り口に誘導されるように点字ブロックが敷設されました。

この状態では、バスの列に並ぶことができません。本来ならば、人が並ぶ列に沿って誘導ブロックがあるべきなのです。

担当の西部建設事務所に問い合わせをしましたが、国のガイドラインに沿って入口まで誘導したから問題ないと言うのです。

入口に誘導と言っても誘導の仕方が間違っているんです。いきなり入口に誘導するのではなく、人が並んでいる列に沿って誘導して欲しいんです。

視覚障害者の立場になって、考えて欲しいとお伝えしましたが、のりくらりとした返事で話になりません。

名谷駅を利用する他の視覚障害者も困っているはずですよ。どうか、お力を貸していただけませんか。

現地で説明するなど、私で役に立てることがあれば説明させていただきます。

よろしくお祈りします。」と今日メールをいただきました。

すぐに福祉局のユニバーサル担当部署に点字ブロックについて、話をお聞きし、交通局の担当課長にも点字ブロックの敷設について状況をお聞きし、西部建設事務所の担当係長にこの内容を伝え、今日の夕方に建設局西部建設事務所の担当係長と相談者の方と現地を見ながら不具合点を確認していただく事にしました。

現地で、現状の点字ブロックの不具合点を指摘させて頂きました。10日後に西部建設事務所の検討結果をお聞かせいただける予定です。

以下の写真は、名谷駅の現行の点字ブロックの状況と黄色の部分で以前あった点字ブロックの位置を示しています。帰りに妙法寺駅の点字ブロックの状況を写真に収めました。西神中央駅も学園都市駅も妙法寺駅同様の点字ブロックの敷設状況でした。

これを見ると一目瞭然です。

名谷駅の点字ブロックは、視覚障害者のことを考えていない敷設であると言わざるを得ないと言う事です。

明日、西部建設事務所に再度改善を私からも求める事に致します。

以上今日の活動報告です。

後日、西部建設事務所長より、以前あった所に点字ブロックを敷設する旨回答を頂いたことを報告させていただきます。改修工事の際は、市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員 メールアドレス ooi@kobe-001.com 公式ホームページ http://kobe-001.com

大井としひろ おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

Twitter KOBE\_SUMA\_OOI

自宅兼事務所 須磨区多井畑南町22-15 TEL 080-5339-3001

大井としひろ 検索

国民民主党・友愛 神戸市議員団 NEWS

安心・安全／公正・公平な街づくりに全力投球!

神戸市議員(須磨区) 福祉環境委員会委員 未来都市創造に関する特別委員会委員 国民民主党・友愛神戸市議員団 団長

大井としひろ 市会報告 VOL.89 2021年秋号



編集・発行:国民民主党・友愛神戸市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館26F TEL(078)322-5772 FAX(078)322-5773 MAIL:info@kobe-001.com

令和3年第2回定例市会9月議会開催 期間(8月31日~10月8日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。国民民主党・友愛神戸市議員団の大井としひろです。

厚生労働省は、「第六波」の発生に備え、医療体制の見直しに着手しました。神戸市会9月議会では、新型コロナウイルス感染症対策・医療体制の安定的確保策として、軽症者を受け入れる宿泊療養施設の追加確保(5施設目)と市内事業者の経済活動支援策他、18億5,100万円の補正予算を承認したところです。

三度目の緊急事態宣言は何か解除され、ワクチン接種も進み「withコロナ」へとコロナウイルスとの付き合い方も変わりつつありますが、気を緩めることなく「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を継続して頂き、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を実践していただけますようよろしくお願いいたします。

神戸市会の決算特別委員会第二分科会において、「危機管理室・消防局」、「健康局」、「環境局」、「水道局」、「福祉局」、「建設局」の1室6局に対し、会派を代表して質疑しました。また、決算特別委員会総括質疑で、市長以下執行部に質疑しましたので、以下のとおりご報告いたします。

決算特別委員会 総括質疑 2021年9月24日

再Q 大井としひろ

7年前に神戸市のビンの資源化量を質疑した際、「24年度で210トン」との副市長の回答でありましたが、当時の資源化量の母数である収集量はいくらでしたか。また、現在の資源化量、そして、収集量はいくらですか。



A 副市長

平成24年度の収集量でございますけれども、1万589トンでございます。そのうち資源化量が210トンということでございます。現在ということになりますと、令和2年度の実績で申し上げますと、収集量が9,537トン、資源化量が4,438トンでございます。

再Q 大井としひろ

収集しました資源化されていない瓶は、24年度当時も現在もどうされておられますか。お尋ねします。



A 副市長

資源リサイクルセンターでの選別後、リサイクルとして扱えない物があるわけでございます。例えば、これらの不適切物の中には、瓶の飲み口の部分ですとか、キャップがくっついたもので、どうしても瓶のかげらの部分だけが取り出せないようなものも含まれているところがございます。このようなものは残渣として埋立処分をしているということでございます。

要望 大井としひろ

市民の皆さんが真面目に瓶を洗って、毎週出しています。20年近く市民の皆さんが、毎年1万1,000トンと出されて、1万790トンが捨てられていたと。7年前から半分ぐらいに改善されたと言われても、このことは考え直してもらわないといけないと思います。

中面につづく→

■ビンのリサイクルについて

Q 大井としひろ

ビンのリサイクルについて、お伺いします。

平成30年度の環境局の予算(案)では、令和2年度からビンの単独回収の一部試行を行い、令和4年度からビンの単独回収を全市展開すると提案されていたが、来年度から、ビンの単独回収は実施できるのか、進捗状況をお伺いします。

A 市長

瓶の資源化、これまで大井委員から再三御質問をいただけてきました。この瓶の資源化につきましていろいろと検討をしてきたところではあります。しかし、この再資源化をする上での単独回収をするということにつきましては、これはかなり抜本的な見直しでありまして、全ての処理過程に影響があり、当初考えていた以上に課題整理が必要になっているというのが今の状況であると考えております。

具体的には、単独回収では1か所当たりの収集量が少なくなり、収集車もパッカー車から平ボディ車に変更しなければいけない、収集体制の抜本的な見直しが必要になるということ、それ以外にも中継施設の確保が必要になるなど、課題整理が必要となっております。想定以上に検討に時間がかかっていると。そこで、この瓶の資源化を進める上で、さらに精度を上げた検討を進めていくため、単独回収モデル事業に対して地域の協力を働きかけているというのが今の状況でございます。

